平成13年度技術研究開発賞

12月12日、中電ビルにおいて平成13年度技術研究開発賞の表彰式が行われました。

技術研究開発賞は、平成12年度中に評価が可能となった研究成果の中から、「高度な着想と創造性に基づく技術研究開発により、当社の事業経営や社会の技術進歩に大きく貢献するもの」「技術研究開発成果が学会など公的機関や社会から高い評価をうけたもの」を選考対象に授与されるものです。

表彰に先立ち、11月14日、中電ホールにおいて、本店技術部門より推薦された8件名の発表をもとに、同日開催された、技術研究開発委員会（委員長：望月常務取締役技術開発本部長）で選考審査が行われ、「社長賞」1件、「本部長賞」2件、「奨励賞」2件が選ばれました。

社長賞を受賞した「医療廃棄物処理装置の開発」は、当社の自社開発であることともに、新規事業開発に資する研究成果として高く評価されました。また、本部長賞の「新型超電導導体の開発」は21世紀の技術開発をリードするものとしてこれからの成果が期待されます。「煙突ライニング点検システムに関する実用化研究」は点検のための火力発電設備停止を不要とし、経済運用に大いに貢献するものです。

●社長の言葉より

「このような社会に貢献する研究は、中部電力の価値を高めるものであり、大きな意味をもっています。また、長年培ってきた技術が、今回の成果に繋がったものであり、今後とも引き続き努力してください。」

社長賞の受賞者　左から 瀬尾、田中、棚橋

【技術研究開発社長賞】

医療廃棄物処理装置の開発	エネルギー応用研究所 計画グループ　Mプロジェクトチーム	田中　和士 瀬尾　拓史 棚橋　尚貴

【技術研究開発本部長賞】

新型超電導導体の開発	電力技術研究所 電力グループ　超電導・新素材チーム	鹿島　直二 長屋　重夫
煙突ライニング点検システムに関する実用化研究	土木建築部　火力土建グループ 〃　〃 三重支店　工務部　土木建築課	長谷川利樹 中島　潤二 川合　弘之

【技術研究開発奨励賞】

深礎基礎水平支持力評価手法に関する実証研究	基幹系統建設センター　技術グループ 岐阜支店　工務部　送電課 工務部　送電グループ	鈴木　正嘉 池田　誠太 久野　武紀
アクセス系光ケーブル構築に関する研究	制御通信部　技術グループ	伊藤　博文

技術研究開発社長賞

「医療廃棄物処理装置の開発」の概要

社会的に処理の徹底が渇望されている感染性医療廃棄物の処理について、これまで研究所に蓄積された電気加熱技術を応用して、当社独自で医療廃棄物処理装置を開発しました。

本装置は焼却処理では燃え残る注射針やガラス製品を含む感染性医療廃棄物を、超高温のプラズマにより極限まで減容化、無害化するとともにダイオキシンの発生を大幅に抑制するものです。

現在、開発装置を名古屋第二赤十字病院（名古屋市八事）に設置し、フィールド検証を実施中です。

装置全景

当社で開発したプラズマトーチ

処理前　熱分解灰化処理後　溶融処理後